



ボランティア

6
2024

街中で休んでいきませんか



「募金」が「地域」を
よくするしくみ

【特集】 いぐさの赤い椅子

ながかわ けいじゅん

代表 中川 圭珣さん (写真下段中央) スタッフの皆さま

令和6年度
杉並区社会福祉協議会
地域福祉活動費
助成金事業

3面・・・能登半島地震 派遣報告

大判プリンター 貸出再開のお知らせ

4面・・・福祉体験用具貸出・福祉学習授業のご案内
夏のボランティア体験2024 予告

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、
宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

いぐさの赤い椅子は、阿佐谷で取り組まれている「ふらり赤い椅子」の姉妹プロジェクトとして2022年から活動を開始。地域包括支援センター(ケア24※)下井草のあんしん協力員、民生・児童委員、下井草商店街や地域で活動する有志等14名で活動を行っています。井草地域を中心に、疲れたら休める「赤い椅子」を設置し、高齢者、子ども連れの親等、誰もが安心して外出しやすいまちづくりを目指しています。

団体の活動内容

「いぐさの赤い椅子」事業は、家庭で不要になった椅子を譲り受け、赤く色を塗り、街中に設置する活動です。

杉並区では、ケア24阿佐谷の「地域懇談会」で「街中に休憩できる場所が欲しい」という住民の声が上がり、武蔵野市吉祥寺で行われている「赤い椅子プロジェクト」を参考に、「ふらり赤い椅子」の活動が阿佐谷地域で始まりました。

私たちのケア24下井草地域でも「買い物に行く途中に休むところがない」と高齢者からの声上がり、ケア24下井草がこの課題に取り組もうと地域の有志に声をかけ、2022年5月から活動が始まりました。活動当初は椅子の寄附や塗装のやり方の指導等を「ふらり赤い椅子」の代表に協力いただきました。

赤い椅子は、ただペンキを塗るだけでは作れません。まずご寄附いただいた椅子をサンダー(電動紙やすり)や細かいところは紙やすりでこすり、塗装を剥がしていきます。全ての塗装が剥がれたら、ニス成分が入ったペンキを、2回、3回重ねて塗っていきます。丁寧に作っていくことで、街の中でも目を引くものになりますし、何より座った方が安全・安心に座れる椅子になります。

安心して赤い椅子に座ってほしい

この地域福祉活動費助成金を利用した一番の理由は、杉並社協のキャラクター「うえるくん」を椅子に貼り、社協が関係しているという印象を持ってもらいたかったからです。地域の方からの安心感につながるといいますし、社協の助成金事業ということで、赤い椅子を店先等に設置しやすくなると考えました。

その反面、私たちが一番懸念していたのは、赤い椅子に座った人にケガをさせてしまうことです。もちろんケガの心配がある椅子は使用していませんし、日頃からメンバー自身も座ったり、点検をしています。助成金で保険に入れたことで、安心して活動ができるようになりました。



▲サンダーを使う女性メンバー

杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。

今回はその中の一つ、**チャレンジ応援助成団体※いぐさの赤い椅子代表・中川圭珣さん**にお話を伺いました。

※チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

赤い椅子の活躍の場所

現在、私どもの作った赤い椅子は、下井草駅をはじめ下井草地域の14か所で20脚以上設置させていただいています。私たちには、「出かける時に皆さんがちょっと一息つける場所に置きたい」という思いがありますが、店先は椅子を置くスペースがなかなかなく、公道に置くこともできないため、残念ながら断られるケースもあります。一方で、バス停や遊歩道など少しでも活用される場所が増えるよう、区の都市整備部と少しずつ相談をしています。

また、学校や地域のイベントで「赤い椅子を置きたい」と主催者から相談があり、昨年からのイベントにも貸出をしています。公園でのイベントで、読み聞かせの前にベンチの赤い椅子に子どもたちがぎゅぎゅぎゅに座っている様子は、この活動をしていて良かったと思える瞬間でした。



完成した赤い椅子と作業の様子

今後について

メンバーの中には男女を問わず、初めて工具を使ったという人もいます。みんな楽しく活動しています。年齢、経験、性別問わず、ご興味を持っていただいた方がおりましたら、まずは見学からでも来ていただけると嬉しいです。

地域の皆さんには、ぜひ「自由に座っていただきたい」と思っています。私たちの赤い椅子には番号を記載しています。番号は点検時にも活用していますが、ゆくゆくは「〇番の赤い椅子に集合ね」と地域の方々が気軽に交流できる場、おしゃべりできる場としても赤い椅子の存在が浸透してほしいと願っています。

赤い椅子があるから出かけられる、赤い椅子に行くと誰かに会える、赤い椅子があると高齢者も親子連れも安心してイベントに参加してもらえる。そのような存在になれることを目指して、今後も活動を続けていきたいと思っています。

※ケア24とは、高齢者の方が、身の回りのことで不自由を感じた時や、家族の介護のことで困った時に相談できる身近な窓口です。

いぐさの赤い椅子 03-3390-4601(中川代表)

毎月第1水曜、第3月曜 10時から 詳細はお問合せください。

◆長寿応援ポイントの対象事業です。



能登半島地震 輪島市社会福祉協議会への 派遣報告



東京都社会福祉協議会から要請を受け、杉並ボランティアセンターの職員が、石川県輪島市社会福祉協議会の支援に行ってきました。

期間：4月24日(水)～4月30日(火)

派遣職員：東京都と都内の区市社会福祉協議会の職員8名

派遣先：輪島市社会福祉協議会、
輪島市災害たすけあいセンター
(災害ボランティアセンター/写真右上)

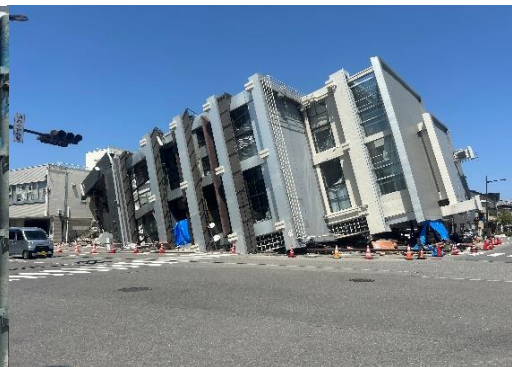
派遣された時期は、ようやくほとんどの地域で水道が復旧し、避難先から戻ってきた方や、住める状態ではなくとも片付けに来られた方が増えた時期でした。

しかしながら、全壊・半壊の建物のうち、公費解体が終わっていたのは1%以下で、写真の通り、崩れた建物がそのままになっており、復興までの道のりの長さを感じました。

災害たすけあいセンターには、毎日多くのボランティアが活動に参加し、住民の方の力になりたいと前向きに取り組まれています。

今後も、杉並区社会福祉協議会、杉並ボランティアセンターとしてできる支援を行っていききたいと思います。

派遣報告の詳細は
ボラセンブログをご覧ください



貸出再開 大判プリンター



お待たせしました！6/1より、登録団体へ大判プリンターの貸出を再開しています。
A0、A1サイズ印刷可能です。

今、私たちにできること

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、たくさんの方が被災されました。ボラン・てでは、「その時に被災地が求めている支援」、「私たちができる支援」を紹介していきます。



石川県アンテナショップでお買い物

能登のために、石川のために
応援消費
おねがい
プロジェクト
石川県



能登半島地震を受け、飲食や観光、県産品事業者の売り上げが減少しています。石川県アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」では、石川県に直接行けなくても、県産品が買えます。左のロゴマークを目印に、石川県産品を買って、食べて、飲んで、応援の輪を広げましょう！ <https://ishikawa-antenna.jp/>



Vol.3

必見

MADE IN 杉並

区内の福祉施設や団体で作っているオススメの製品・作品を紹介します。お気軽にお問合せください！



マカナでは一つ一つ手作りのアクセサリや小物、雑貨を販売しております。季節に合ったデザインの商品も取り揃えております！



マカナ(就労継続支援B型)
(天沼2-3-9) TEL: 03-6279-9579
<https://aoba-welfare.com/activity-center/makana/>

杉並ボランティアセンターでは、各種模擬体験グッズの貸出しを無料で行っています。

学びをサポート

※貸出し・返却の際は当センターへ直接ご来所ください。

福祉体験用具貸出・福祉学習授業



高齢者模擬体験グッズは大人用と子ども用があります。

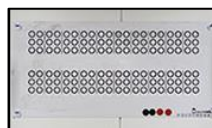
POINT 1 車いす・高齢者模擬体験

高齢の方の見え方・聞こえ方・運動機能を体験したり、車いすに乗った時の目線や押しているときに気を付けることなどを体験します。

POINT 2 視覚障害者の体験

白杖を使った歩行体験や手引き体験ができます。アイマスクを併用できます。

また、点字器と点字指導者用ボードを使い、実際に点字を打つことができます。



プログラム集も

ございます！

詳細は杉並ボランティアセンターのホームページをご覧ください！



POINT 3 講座・授業のお手伝い

手話や点字、車いす体験の際の講師紹介、講話や授業の組み立てのお手伝いをしております。授業のサポートをボランティアさんで行うこともできますので、ご相談ください。

※ 打ち合わせを行いますので実施2か月前にご依頼ください。

次号予告 夏のボランティア体験2024 まもなく始まります！

今年も「夏ボラ」で、杉並ボランティアセンターが皆さんの“はじめての一步”をサポートします！詳細は次号と、7月2日(火)にホームページにて！



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp

うえるくん
杉並協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内 JR、地下鉄丸の内線など）・他